

## 令和8年度和歌山県精神保健福祉実態調査業務委託仕様書

### 1. 業務の目的

本業務は、精神障害のある方や精神科に通院されている方のニーズを把握することで、和歌山県及び県内各市町村の精神保健福祉施策の推進を図り、もって「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築の推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 契約期間

契約締結の日から令和9年3月31日までとする。

### 3. 調査の概要

和歌山県内に居住する自立支援医療受給者証所持者に対するアンケート方式の調査を実施する。

#### (1) 調査対象者

和歌山県内に居住する自立支援医療受給者証所持者 4,000人

#### (2) 調査時点

令和8年9月1日現在

#### (3) 調査方法

郵送による調査票の送付及び回収

#### (4) 抽出方法

和歌山市・那賀圏域・伊都圏域・海南海草圏域・有田圏域・御坊圏域・西牟婁圏域・東牟婁圏域の8地域をそれぞれ人口割したうえで、年齢別に均等割し、層化無作為抽出法により県が抽出した対象者のタックシールを受託者に提供する。

### 4. 業務の内容

#### (1) 調査の実施

##### ①調査票の作成

調査票の質問項目は和歌山県と協議の上作成する。

##### ②調査票、発送用封筒及び返送用封筒の印刷

##### ③発送用封筒へのタックシール貼付

##### ④依頼文及び調査票の封入及び発送（封筒及び郵便料金（往復）を含む）

##### ⑤調査票の配布及び回収に際しては、個人情報保護に十分配慮すること。

##### ⑥調査期間中は、対象者からの質疑に迅速に対応できる体制をとること。

##### ⑦目標回収率は50%以上とする。回収率を上げる具体的な方法については、受託者

の提案事項とする。

## (2) 調査票の集計及び分析等

次の事項を記載した報告書を作成すること。

### ①調査項目の集計結果

### ②集計結果に基づく和歌山県の精神保健福祉に関するニーズ等についての分析

- ・自由回答欄の集計及び分析の方法については、受託者の提案事項とする。
- ・その他、効果的な集計及び分析については、受託者の提案事項とする。
- ・なお、精神保健福祉に関する地域アセスメントについての専門的知識を有するものからの助言を適宜受けられる体制を用意すること。

## (3) 調査報告

### ①報告書の作成

受託者は、調査の集計・分析結果を報告書にまとめる。

- ・紙ベース100部 A4サイズ
- ・ホームページ掲載用電子データ
- ・集計した調査票電子データ (Excel ファイル)

※クロス集計が可能な形式であること

### ②報告書の提出期限

委託契約期間の終了日

### ③報告書の納入場所

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局こころの健康推進課

## 5. 委託費対象経費

委託費の対象経費は以下に示すものとする。

職員手当等、賃金、社会保険料等、報償費〔謝金〕、旅費、需用費（消耗品費、燃料費、食糧費〔会議費〕、印刷製本費、光熱水費）、役務費（通信運搬費、手数料、保険料、広告料）、使用料、賃借料、委託料（上記の経費に限る。）

## 6. その他

(1) 業務の履行にあたっては、業務内容を十分に理解し、県こころの健康推進課と連絡を密に取りながら誠実に履行すること。

(2) 業務の主要な区切りには協議・打合せを行い、その結果を記録し相互に確認する。連絡事項についても同様に記録し確認するものとする。なお、それぞれの協議録等は、受託者側にて作成すること。

- (3) 委託業務により新たに生じた著作権については、すべて和歌山県に帰属するものとする。
- (4) 本仕様に不明な点や明記のない事項がある場合又は疑義が生じた場合は、県こころの健康推進課と協議の上決定すること。